

“ティファニー・ブルー”をモチーフにしたベッドフレームは、J夫妻がこれまで利用した海外のホテルを参考にデザインしました。ベッドサイドの窓からは美しい山並みを望むことができます。

住まい手の美学と造り手の感性、両者が触発し合ったことにより唯一無二の空間となつた一棟邸。その特徴の一つが、卓越したセンスに裏打ちされた色づけです。たとえばベッドルームは、ティファニーのカンパニー・カラーである「ティファニー・ブルー」がモチーフ。「ニューヨークに仕事で頻繁に言つた頃、なぜかティファニー・ブルーが心に

残りました。その青は、海や空の色にも通じており、自然の色が与えてくれるエネルギーを日常的に感じたいと寝室をこの色でコーディネートしたのです」とスタイルとして国内外で活躍されている奥様。住まいのちょうど真ん中にあるクローゼットは、赤を用いていますが、これは、家の心臓部であることからイメージしました。そして心臓から血液が循環するように、どの居室にも必ず赤を取り入れています。ほかにも木々の緑、果実のイエロー、雲の白など、自然からインスピレーションを得た色を取り入れた邸内は、落ち着きと統一感を醸し出しています。

東京を拠点に、仕事で国内外を飛び回っていたJ夫妻が、「ゆくゆくは奥様の実家の愛媛県でスローライフを」と思い始めたのは数年前。当初は10年くらい先のイメージで、ゆっくり準備しようと考えていました。ご主人も美しい山並みと水に恵まれたこの地を気に入り、「愛媛で暮らす」ことを将来のビジョンに組み入れていたのです。



自然素材でつくりあげた麗しの邸 [紙上見学会 新居浜市・J様邸]

住まい手の美学と
創り手の感性が響き合う
スローライフの拠点。